

富津市教育委員会定例会議 会議録

1 会議の名称	令和3年度第7回富津市教育委員会定例会議
2 開催日時	令和3年10月29日(金) 午前10時00分から午前11時05分まで
3 開催場所	市役所4階 401会議室
4 審議等事項	○報告事項 報告第1号 専決事項の報告について(後援申請) 報告第2号 富津市立図書館整備基本計画(素案)について
5 出席者名	岡根教育長、池田教育長職務代理者、坂部委員、嶋野委員、藤平委員、平野教育部長、須藤教育部参事兼学校教育課長、小野田教育総務課長、平野学校教育課主幹、保坂教育センター所長、宮崎主幹、樋口生涯学習課長、平野公民館長、田村教育総務課庶務係長、刈込教育総務課主事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	0人 (定員 6人)
9 所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和3年度第7回富津市教育委員会定例会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
岡根教育長	<p>9月30日まで延長されていた緊急事態宣言、蔓延防止措置のいずれも解除となりました。第5波といわれた感染者の数も減少してきており、ワクチンの効果と医療体制状況を考えた行動抑制が行われたのではないかと分析している専門家もおりますが、はっきりとした根拠が出されないまま、現状を判断し緊急事態宣言等は解除となりました。しかしながら、第6波を懸念する専門家も多く、マスクの着用等については、今までどおりの行動様式が求められています。学校においても、クラスターが発生しないよう、まだまだ緊張感を持った指導をお願いしたいと思っております。</p> <p>緊急事態宣言等解除により、多くの人の流れが見られ、行楽地にも人出が戻って来た様子や、修学旅行の様子も報道されていきました。今後の感染状況等には十分注視し、今後の第6波の流行が防げるよう対応していかなければならないと思います。</p> <p>本日は、報告2件です。それでは会議を開催します。忌憚のないご意見をお願いします。</p> <p>本日の議事録署名委員の指名ですが、坂部委員にお願いします。</p>
坂部委員	はい。
岡根教育長	<p>最初に、教育長報告を申し上げます。1ページをお開きください。</p> <p>1の第23回新型コロナウイルス感染症対策本部会議ですが、先ほども挨拶で触れましたが、9月30日をもって千葉県に出されておりました緊急事態宣言が解除されることとなり、今後の公共施設の開放等について確認しました。おおむね、宣言以前の状況に戻すこととしましたが、感染対策として生涯学習バスの定員については、半数までとしております。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。</p> <p>御質問・御意見はございますか。</p> <p>無いようですので、次に、各課報告をお願いします。</p> <p>始めに教育総務課、お願いします。</p>
小野田課長	<p>教育総務課から報告いたします。</p> <p>お手元の資料に記載はございませんが、先日10月19日に全国都市教</p>

岡根教育長
須藤参事

育長協議会から令和3年度の定期総会におきまして、岡根教育長が「全国都市教育長協議会表彰規程」に基づき、表彰された旨、通知がありましたので、報告いたします。

改めまして、岡根教育長おめでとうございます。

以上でございます。

続いて学校教育課、お願いします。

はい。学校教育課から報告いたします。

9月26日、27日の2日間で市内全小中学校の学校長に対する人事評価制度にかかわる中間面談を2次評価者である教育長と1次評価者である学校教育課長の2人で、各学校を訪問し実施しました。目標申告シートに記載された中間申告に基づき、中間面談を実施しました。今後、2月の最終面談により校長の人事評価を行います。この人事評価制度は、各学校でも1次評価者を教頭、2次評価者を校長として県費負担職員、全員に対して同様に行われます。

10月8日に第2回教育支援委員会を502、503会議室で開催しました。今回の対象者は、就学前児童5名、小学生6名の合計11名でした。協議の結果、特別支援学級で就学の判定が、就学前児童3名、小学生5名、特別支援学校への就学の判定が、就学前児童1名、通常の学級で留意観察するが、小学生1名、通常学級で指導するが就学前児童1名でした。

10月21日に市長応接室にて、富津市母と女性教職員の会の要望の会がありました。新型コロナウイルス感染症対策により、当日は、通学路や図書館等に関する要望書を受け取り、回答については、後日文書で行うこととしました。

10月22日に富津市校長会人事要望の会が開かれました。教育長と学校教育課長で対応いたしました。市雇用の指導補助教員、特別支援教育指導員の増員、統合した学校への加配教員の継続配置などの要望がありました。今後、人事異動の際に十分配慮するとともに、県教育委員会にも要望していきたいと考えています。

10月25日から28日までの4日間で、252名を対象に就学時健康診断を市役所において実施しました。新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、三密をできるだけ作らないように実施をいたしました。

学校教育課の各課報告は、以上です。

<p>岡根教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて教育センター、お願いします。</p>
<p>保坂所長</p>	<p>はい。教育センターより、御報告いたします。</p> <p>9月24日、夏季休業中に教育センターで主催したオンライン講座の東大むら塾「現役東大生が考える読書の魅力について」を、飯野小学校から開催希望があり、実施いたしました。</p> <p>9月29日、富津市通学路安全対策協議会を富津市消防防災センターで開催しました。今年度各学校から提出された対策希望箇所は、小学校44件、中学校9件でした。その箇所の点検を行い、各担当で対策を考え、道路管理者、警察、校長会代表、市教育委員会などが参加して、通学路の安全確保に向けて協議いたしました。</p> <p>10月13日、オンラインで4市適応指導教室合同高校説明会を開催しました。富津市・木更津市・君津市・袖ヶ浦市の適応指導教室や希望する学校から、生徒、保護者、指導員、教員が参加しました。6校の高等学校から説明をしていただき、進路選択にむけて、参加者の真剣な姿が画面越しに見られました。</p> <p>10月15日、富津公園にて、君津支部駅伝大会が開催されました。結果は、富津中学校男子が4位、富津中学校女子が3位で男女ともに県大会に出場予定です。詳しくは、机上にございます結果一覧表を御覧ください。</p> <p>同じく15日、15時30分から市役所502会議室で、市学力向上推進委員会を開催しました。委員長、教科指導員、教育センター職員の9名で、読書活動を推進するために、児童・生徒、保護者へ配布する資料について協議しました。また、市内若手教職員向けに指導の参考となるお勧めの書籍について情報共有しました。</p> <p>教育センターの報告は、以上でございます。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて生涯学習課、お願いします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。生涯学習課から報告いたします。</p> <p>9月29日、「市制施行50周年記念事業生涯学習バス」ラッピング用図画作品の選定会を、502、503会議室において実施しました。選定には市の特別職、教育委員、社会教育委員に参加いただき、市内小学生か</p>

ら提出された全 263 点の作品から学校ごとに投票していただき 10 点の作品を選びました。選定された作品はお手元に配付していますので、後ほど御覧ください。なお、選定作品は、生涯学習バスの左右両面に 5 枚ずつラッピングする予定です。色のコントラスト、作品内容を考慮しながら、現在、受注者のいすゞ自動車と調整をしているところです。

10 月 10 日に予定していました、富津市ふれあいスポーツフェスタ 2021 は中止となりました。

10 月 14 日、富津市社会教育委員臨時会議を消防防災センターにおいて実施しました。臨時会議では、富津市立図書館整備基本計画（素案）について約 2 時間に亘り検討、提案がされました。計画（素案）の内容、進捗状況につきましては、報告事項にて報告させていただきます。

また、資料にはございませんが、今後の行事の中で毎年 11 月 23 日に開催しております市民ハイキング及び毎年 1 月 1 日に開催しております、元旦歩こう大会は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、中止が決定しております。

生涯学習課の報告は、以上です。

はい。ありがとうございました。

最後に公民館、お願いします。

はい。公民館から報告いたします。

令和 4 年富津市成人式第 3 回実行委員会を 10 月 3 日、富津公民館にて実施いたしました。会議の内容については、記念行事内容、記念品などについて話し合いを行いました。引き続き協議をしていきます。次回は 11 月 7 日、第 4 回実行委員会を実施いたします。

公民館の報告は、以上です。

はい。ありがとうございました。

各課報告の中で御質問・御意見はございますか。

はい。藤平委員。

はい。通学路安全対策協議会について伺います。八街市の交通事故は飲酒運転で狭い道路の危険箇所で見られました。先日、大きな地震がありました。以前、地震によりブロック塀が崩落し、通学途中の児童が亡くなった事故がありました。危険箇所の点検は実施していると思いますが、通学路における古い亀裂の入ったブロック塀の安全点検の状況につ

岡根教育長

平野館長

岡根教育長

藤平委員

<p>岡根教育長 保坂所長</p>	<p>いていかがでしょうか。 はい。保坂所長。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>小学校から危険なブロック塀について1箇所危険という報告があり、道路管理者が確認を行いました。民地が多いので、担当が、注意喚起のお願いをいたしました。</p>
<p>岡根教育長 保坂所長</p>	<p>はい。事故の意識が薄れてしまうといけません。再度確認をお願いします。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。 ほかにございますか。 無いようですので、次に報告事項に入ります。</p>
<p>小野田課長</p>	<p>報告第1号専決事項の報告について（後援申請等）、説明をお願いします。</p>
<p>小野田課長</p>	<p>はい。報告第1号について、御説明いたします。 3ページを御覧ください。富津市教育委員会行政組織規則第9条第1項の規定により、別紙のとおり後援申請に対しまして、専決により承認しましたので、同条第2項の規定により報告するものです。 4ページを御覧ください。内容につきましては、記載のとおり1行目の財団法人日本リーダー育成推進協会ほか、5件の後援申請があり、それぞれ承認いたしました。時間の関係もありますので、個別の内容は割愛させていただきます。御了承ください。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 報告第1号について、御質問はございますか。 無いようですので、報告第2号富津市立図書館整備基本計画（素案）について、説明をお願いします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。5ページを御覧ください。 報告第2号、富津市立図書館整備基本計画（素案）について、10月14日に開催しました、社会教育委員臨時会議にて、協議・検討した結果、作成しました素案について、報告いたします。 別添の資料を御覧ください。 6月の本定例会の際に、イオンモール富津内への富津市立図書館設置について、イオンモールからの提案の概要とともに、基本コンセプトや、基本方針などについて御説明いたしましたが、今回、計画（素案）とし</p>

て、新たに追加した部分を中心に御説明いたします。

1枚めくっていただき、目次を御覧ください。1の計画策定の背景及び経緯から、13のスケジュールまで、13項目を記載しています。

1ページを御覧ください。1の計画策定の背景および経緯ですが、富津市教育大綱「人と人との温かくつながり、生涯にわたり学び、健康で活躍できるまち」を実現するため、その環境づくりの観点からも、図書館はハード、ソフトの両面において重要な施設と考えられ、各種の市民アンケート調査においても、図書館を望む声は多く寄せられました。しかし、「あらゆる人々に開かれ、すべての分野にわたり資料を収集・提供できる、市民の生涯学習の拠点施設」としての図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務であります。このような状況の中、イオンモール富津から同施設の空きスペース活用についての提案を受け、市及び教育委員会が考える時代のニーズに合った図書施設の設置を、双方協力のもとイオンモール富津内に実現しようとするものであり、本市にとっては初期導入費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えます。

2の本計画の位置づけですが、富津市立図書館（以下「市立図書館」）を基幹館と位置づけ、公民館図書室、市民会館図書室、移動図書館と連携を図りながら、市内全域の図書サービスのネットワーク化を図ります。これにより、「富津市図書システム」から図書を予約すると、市立図書館に蔵書してある図書を各公民館や移動図書館（15ステーション）で受け取ることができます。このような形で、図書サービスは、市立図書館、公民館図書室、市民会館図書室、移動図書館全体で、連動し、利便性の向上に努めます。このことを前提といたしまして、「富津市立図書館整備基本計画」は、イオンモール富津から同施設の空きスペース活用についての提案を具体化するため、図書館の基本方針、各種のサービス、求められる機能などについて、その方向性を示すことを目的とするものであります。

3の施設の概要ですが、市立図書館は、イオンモール富津の3階、北側エスカレータ前の空きスペースに設置し、面積は約1,450㎡（約439坪）

であり、開館は、令和5年4月を予定しています。契約期間は、営業開始日から10年間の予定であり、その後は適切な時期に再契約の協議を進めます。

4の蔵書冊数ですが、図書館開館時の蔵書は、6万5千冊程度とし、令和5年度から3年間で段階的に蔵書数の拡充を行い、8万冊程度の蔵書を予定しています。

5の開館時間及び閉館日ですが、開館時間は、多様化するライフスタイルや商業施設内である点などを考慮し、10時から20時まで、閉館日は、毎月最終月曜日、特別図書整理期間（年間10日以内）を基本とします。

6の基本コンセプトですが、「あらゆる人々に開かれ、すべての分野にわたり資料を収集・提供できる、市民の生涯学習の拠点施設」としての図書館を実現するため、市立図書館の基本コンセプトは、「気軽に立ち寄れる、出会い・学び・憩いの場としての図書館」としています。

7の基本方針の(1)多世代にやさしい図書館にします①親子がゆっくり向き合える居場所づくりとして、読み聞かせなどを開催し、親子がゆっくりと向き合える“場”と“機会”を提供します。②子どもが身近に本にふれあえ、本を好きになる図書館づくりとして、年齢に合った図書コーナーを充実させ、世代別にアプローチすることで、子どもの興味・関心を促します。③あらゆる人々に開かれた図書館づくりとして、図書を読むのに支障のある方などへ、電子媒体も活用し対応します。④コンパクトな図書館ならではの特色の充実では、ワンフロアで隅々まで見渡せ、みんなが安心できる空間、わかりやすい動線づくりに心掛けます。(2)郷土の歴史や文化を支え、伝えますについては、前回よりも大幅に記載を増やしています。そして、市立図書館の特徴を強く打ち出している部分であります。①アーカイブ(保存)機能を充実させます、本市に関する歴史、文化、産業、観光などの資料の保存・蓄積に努めます。なお、郷土資料の保存にあたっては原形保存を原則としますが、一部の資料については、閲覧等の利用の利便性、保存スペースの確保のために電子化も検討します。②文化財と「自然の宝庫ふつつ」をアピールします。関東屈指の内裏塚古墳群、日本の近代化を支えた鋸山石切場跡や海堡、当市の特徴である海・山の景観などについて広く資料を収集することや、市内で出土した遺物を紹介するなど、富津市ならではの特色づく

りに努めます。③収集した資料を発信し、郷土愛を醸成します「古墳のまち」や「鋸山の産業遺跡」など、郷土資料に関するコーナーを設け、収集した資料を展示するとともに、様々な媒体で発信し、市民の郷土への理解を深め、郷土愛の醸成に努めます。(3)「知」との出会いを楽しむ場は、図書館の根幹となる部分について、新たに記載を追加しました。

①暮らしや仕事に役立ちます、日常のちょっとした疑問や困りごと、これから新しいことを始めようとする時のために、暮らしのヒントや幅広い情報を豊富に揃えます。②目的の図書に出会えるよう、司書がお手伝いします、図書だけでなく、新聞・雑誌、インターネットによる情報へのアクセスができる環境を整えるとともに、司書によるレファレンス(調査・相談)サービスを充実し、目的の情報に出会えるよう、調べもの、探し物のお手伝いをします。③情報への橋渡しをします、図書館に資料がない場合も、情報を持つ人や博物館・美術館・大学図書館などの機関とつなぐお手伝いをします。④予期せぬ出会いも楽しめます、ふらっと立ち寄って、ふと手にした本から、未知の世界に誘われるような、読書の醍醐味を味わえるバランスのよい選書を心がけます。(4)くつろぎと憩いの場所にします①ひとりで没頭できる場、一人で読書や学習に没頭できるよう、音や空調などの快適性に配慮し、ゆとりある学習空間を確保します。②みんなでゆっくり過ごせる場、小さな声ならお話しもできるような、しんとしすぎない空間でみんなでくつろいで過ごせる場も提供します。また、適度な賑わいがあることで、親しみやすく、居心地のよい空間を目指します。①と②については、スペースやエリアを区切ることによって、静かな場、賑わいの場の両立を図りたいと考えています。

8の各種のサービスとして、図書館に行くと、どのようなサービスが受けられるか記載しています。・閲覧・貸出サービス、ニーズに沿った新刊図書などの蔵書に努めるとともに、利用者が滞在してくつろげる、機能・サービスを提供します。・レファレンスサービス、専門的な知識を持つ職員を配置し、辞書・事典類や統計書など豊富な参考資料を備え、資料を探すサポートや相談業務などの充実を図ります。また、市民の職業に関する事や地場産業支援など、課題解決に向けた必要な資料・情報提供に努めます。・予約・リクエストサービス、国立国会図書館、県立図書館、県内の公立図書館との相互協力体制を構築し、市民が必要とす

る資料を探し出し、提供するリクエストサービスの向上に取り組みます。・視聴覚資料サービス、CDやDVDなどの映像資料・録音資料は、地域資料や社会教育資料を中心に、定評のある資料や市民の生涯学習に役立つ資料を収集し提供していきます。・子どもへのサービスは、特に児童サービスにおいては専門的な知識と豊富な経験を有する職員を配置し、子どもたちが本に親しみを感じ、自ら考え、学ぶ力をはぐくむ環境の充実を図ります。また、館内をはじめ、幼稚園・保育園や小・中学校へ出向き読み聞かせを行うことや、図書ボランティアなどと連携しながら本への関心を高めてもらうなど、子どもたちが本と触れあう機会と環境づくりに努めます。・若い世代へのサービスは、子どもから大人への架け橋となる資料を用意し、10代後半向けのコーナーを充実させ、情報リテラシーの向上のための手助けをします。・子育て世代へのサービスは、子育て世代が気軽に立ち寄り、周囲に気兼ねなく読書ができる環境づくりに努めるとともに、子育ての不安や悩みの解消に役立つ資料や情報を提供していきます。・成人へのサービスは、新聞・雑誌等も含めた多種多様な資料を揃え、気軽に利用できる環境づくりに努めます。暮らしや仕事に役立つ情報に出会えるようなレファレンスサービスも充実させます。・高齢者へのサービスは、趣味・健康、心身ともに自立した生活を継続するための情報提供に努めるとともに、読書を楽しんでもらうためのゆとりある空間を提供します。また、他世代との交流、知識や経験の伝承などに役立つ場所や機会の提供に努めます。・障がい者へのサービスは、サピエ図書館に登録し、DAISY・点字・電子図書などをパソコン・スマートフォン等を使って、読んだり聴いたりできるようにするとともに、大活字本、点字資料など需要に応じて収集・提供していきます。また、障がい者にとっても活用しやすいレイアウト等にも配慮いたします。この点については、社会教育委員臨時会議での意見を反映し、記載しております。・学校支援サービスは、子どもの読書活動や学習活動を支援するために、市内の公立小学校・中学校等と連携し、協力していくことで、図書館をより身近に感じてもらうための取り組みを推進します。

9の求められる機能として、ICTを積極的に取り入れたいと考えています。1点目、電子図書機能を導入することで、図書館に来館できな

い場合でも、在宅等で利用が可能のため、導入を推進します。2点目、I C タグシステム、現在は、バーコードで1冊、1冊、読み取っていますが、I C タグは、距離や障害物があっても情報を読み取ることができ、また同時に複数のタグを読み取ることができます。そのため、自動貸出返却や不正持出に対応でき、蔵書点検を迅速に行うことができることから、導入を推進します。3点目、自動貸出返却システムは、利用者が貸出や返却のカウンターを通さずに一度に複数冊の貸出や返却が行える機器システムです。利用者のプライバシーの保護、職員の省力化の観点から有効なため、導入を推進します。4点目、不正持出防止システム（B D S） 出口に設置したゲートを通過する際、図書資料の不正持出しを検知するシステムであり、不正持出し防止の観点から、導入を推進します。5点目、W i - F i 、 タブレット端末、既にイオンモール富津に導入されているフリーW i - F i を活用し、タブレット端末を設置することで、郷土資料や地域の産業などのデジタルアーカイブを中心としたデジタルメディアと蔵書をリンクした学びを提供します。

10の図書館サービス網は、市立図書館と公民館図書室等の役割を明記しています。（1）市立図書館の役割としては、サービス網の中核機能を持ち、本館としての資料の選択・収集・整理、配本・入替・除籍・保存等の資料管理を行うとともに、企画・P R 等の業務も行います。また、他の図書館、機関との相互協力の窓口とします。（2）公民館・市民会館図書室については、地区館（分館）的な扱いとし、その地域の市民に密着した図書貸出等のサービスを中心に行います。富津地区に市立図書館を置くことにより、同地区にある富津公民館図書室の役割を変更し、市立図書館の閉架スペースの不足に対応するため、郷土資料を中心とした閉架書庫として活用を考えています。（3）移動図書館の役割、移動図書館は、その機動力を生かし、市立図書館や地区館のサービスを受けにくい地域に巡回して、主に図書の貸出し、読書相談、予約サービス等を行います。

11の運営形態について、市立図書館には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益であり、その運営手法

として、指定管理者制度の導入を予定しています。運営にあたっては、教育委員会（生涯学習課）が総括し、市立図書館が独自に行う事業も含めて、PDCAサイクルに則って点検評価をしながら連携を図ります。また、図書館開館後は、図書館協議会を設置し、事業の内容を確認するとともに、ボランティアの有効な活用を図り、市民ニーズを取り入れながら、反映できる体制づくりに努めます。ボランティアの活用については、社会教育委員臨時会議での意見を反映し記載しています。

12の費用の検討、新たに図書館を建設した場合は、普通建設事業費として、約9億円の費用が見込まれます。その他、状況により用地取得費、駐車場整備費等が考えられます。イオンモール富津内への市立図書館設置での普通建設事業費は、約1億2千万円を見込んでいることから、初期投資費用は大きく抑えられると考えます。また、建物本体の修繕費用、空調等の点検整備、施設管理に係る経費及び警備費用等について、賃借料以外の負担はありませんので、年間のランニングコストも抑えられます。

13の市立図書館開館までの想定スケジュールですが、10月14日、社会教育委員臨時会議で本計画（素案）検討・協議を行いました。10月19日から11月18日までの1か月間、市民の意見を広く伺うため、本計画（素案）を公開し、意見を募集しています。11月18日に開催予定の総合教育会議では、いただいた意見について、お伝えさせていただく予定です。11月下旬、いただいた意見の取りまとめ、12月7日、社会教育委員臨時会議で検討・協議、12月中旬、市議会へ本計画（案）の説明、12月の本定例会で、計画（案）の説明をさせていただく予定です。12月下旬から1月下旬、本計画（案）パブリックコメントによる意見募集、2月、その意見の取りまとめ、社会教育委員臨時会議で検討・協議します。3月、市議会、予算審査・最終案説明、社会教育委員会会議で計画を決定し、その後、教育委員会に答申し策定と進めてまいります。令和4年度は、6月に図書館設置条例を制定し、速やかに、指定管理者を公募し選定します。合わせて、図書館の設計・施工業者公募、契約し、秋ごろから内装工事、本棚等の什器搬入、設置を予定しています。年明けに、開館準備を行い、令和5年、4月開館というスケジュールで進めたいと考えています。

<p>岡根教育長</p>	<p>以上で図書館整備基本計画(素案)についての報告を終わります。 はい。ありがとうございました。 報告第2号について、御質問はございますか。 はい。嶋野委員。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>はい。私は正直あまり読書をする方ではありませんが、一冊の本を読み終えて誰もが何かを感じ、何かを考えるのが読書の魅力ではないでしょうか。小学生、中学生の時、読書感想文を書いた経験があると思います。本の感想を誰かに話せる、考えや意見を聞いてもらえる、本を閲覧する、借りる、利用するに加えて語り合う、学びあう図書館があったらいいと思います。それには職員や図書館司書には整理や貸出しの事務的なことだけでなく、図書館に来る人の話し相手になり、親睦を深め良きパートナー、良きアドバイザー、相談役になっていただき定められた基本コンセプト「気軽に立ち寄れる、出会い、学び・憩いの場としての図書館」を造り上げてもらいたい。私の意見として、新しい図書館への住民から要望を多く取り入れるのも必要ではないでしょうか。一例として、中学生や高校生により検討委員会を立ち上げて若い世代、ヤングが望む図書館イメージを引き出すのも良いのではないのでしょうか。特色のある市民に愛される図書館になるよう期待しています。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 ほかにございますか。 はい。藤平委員。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>はい。イオンモール富津で、市立図書館を設置・運営をしていくのか。それとも、富津市としてほかに図書館を建設する可能性を持ちつつ、イオンモール富津からの提案を受け入れて図書館を運営していくのか、どちらか確認をしたいのが1つ目です。 それから2つ目として、基本計画の中にたくさんの狙いが掲げられていますが、実際、このコンパクトなスペースの中にいろいろ盛り込もうとすると、それぞれが更に小さくされたものになってしまいます。図書館が本の貸出し、閲覧する開館スペースだけでなく、イオンモール富津に設置される図書館は、人々が集う、くつろぐ、安らぎの場、出会いの場、学びの場、憩いの場がコンセプトにあるとするならば、本を読むスペース、学ぶスペース等を確保しつつ、本を揃えるとなると、内容をも</p>

う少し絞り、市民のニーズに合わせ、どこかに重点的な特色を持たせた富津市の図書館の設定で良いのではないのでしょうか。また、郷土の歴史や文化を更に充実させる図書館として新たに重点として追加してありますが、開館スペースだけでなく、歴史的なものを保存していくとなるとバックヤードを保存スペースとして使用し、ニーズに沿った閲覧等が可能なのか。もっといろいろ狭くなってきてしまうので、富津市ならではの、気軽に立ち寄れる、学ぶ、人々が集う図書館として特徴的な部分をもっと絞っていったら良いのではないのでしょうか。市民のニーズはどうか、公民館の利用はどうか。実態と合わせたら良いのではないのでしょうか。

岡根教育長
樋口課長

2点ありますが、いかがですか。

まず1点目ですが、今までも計画がありながらなかなか建設までには至らなかった。イオンモール富津から今回提案をいただいてスタートしました。契約から10年間、その後、更新の協議を進めていくことを考えています。長く皆さんに愛される図書館を設置していきたいと思えます。

2点目ですが、御意見として盛り込みすぎではないか。そのような意見もいただいています。市民の方にも公表して御意見をいただきますので、限られたスペースでするので何を絞って、何に重点的に力をいれていくのか。皆さんのいただいた御意見を参考に考えていきたいと思えます。

開架図書ですが、基本的には6万5千冊からスタートして、3年間で8万冊程度を予定しています。バックヤードは可能な範囲で使わせていただき、富津公民館も閉架スペースとして利用していきたいと思えます。

藤平委員
岡根教育長
池田教育長職務代理者

はい。

ほかにございますか。池田教育長職務代理者。

はい。素晴らしい基本素案だと思います。富津市立図書館は一般的な郊外型の図書館とは来館が目的、動機が異なると思います。一般的な図書館は本を借りたい、読みたい、調べものをしたいと目的が明確ですが、ショッピングモール内ですと買い物のついでに立ち寄る、多様な来館動機、属性に適した図書館機能が求められると思います。基本方針の中に、

親子がゆっくり向き合える居場所づくり、子どもが身近に本にふれあえ、本を好きになる図書館づくりと盛り込まれている的を得ていると思います。

全体のスペースがあると思いますが、キッズコーナー的なスペースを作って児童図書、絵本を置く、読み聞かせ会を開催する。子育て支援的なセンターを併せ持つ機能があれば、さらに子どもたちの図書教育の質のさらなる向上につながります。

基本計画のすべて大事だと思いますが、藤平委員が御指摘されたように、あまり相場的にならないようにショッピングモール内の図書館の特色を明確にし、強化すべき機能は何か、優先順位はどうかをはっきりさせた上で策定を進めていただき、他市に誇れる図書館を期待しています。

岡根教育長

はい。ありがとうございました。

ほかにございますか。

坂部委員

はい。素晴らしい素案だと思います。

1つ確認ですが、市民会館図書室、公民館図書室、移動図書館での貸し出しは現状のままですか。

岡根教育長

はい。いかがですか。

樋口課長

はい。図書システムを導入していますので、大きな図書館ができ蔵書数も倍になりますが、図書システムで予約をして公民館、市民会館で受け取れます。また、移動図書館で竹岡コミュニティセンター、金谷コミュニティセンターや関豊ふれあいシニア館などでも受け取ることができます。市内全体でサービスを連携していきます。

坂部委員

移動図書館がなくなってしまうと、富津イオンまで行かれない方もいると思いますので、移動図書館を残していただければ良いと思います。

岡根教育長

移動図書館が1台では足りないとの要望があるくらい読書に勤しんでいただけたらと思います。

ほかにございますか。また、多くの意見を集約し、市長との意見交換を行いますのでよろしくお願いします。

次にその他に入ります。

委員の皆様から何かございますか。

はい。坂部委員。

坂部委員	<p>はい。9月16日の天羽中学校の火災の件ですが、実験に使用した薬品の処理の誤りとのことですが、もう少し具体的に教えてください。大事には至らなかったようですが、まだ新しくできた学校ですし、今後の対策等ありましたら教えてください。</p>
岡根教育長 平野主幹	<p>はい。お願いします。</p> <p>はい。前日に行われた3年生の理科の実験における薬品の処理による発火です。薬品は、亜鉛の粉末です。水分を含むことで発火する性質があります。そこからの発火と報告を受けています。</p>
岡根教育長 坂部委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。処理をきちんとしなかったことが原因ですので、十分注意していただいて大佐和中学校、富津中学校でも火災が起こらないように、今後、指導の徹底をお願いします。</p>
岡根教育長	<p>はい。これを受けて君津管内の中学校に薬品の対応についての注意喚起の文書が出ております。</p> <p>出勤していた職員が速やかに消火活動をしてくれて大事に至りませんでした。</p> <p>基本的なことなので、今後このようなことがないように留意してまいります。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>無いようですので、執行部から青堀小学校屋内運動場耐力度調査の結果（概要）についてお願いします。</p>
小野田課長	<p>はい。それでは教育総務課から別添資料の青堀小学校屋内運動場耐力度調査の結果（概要）について報告させていただきます。</p> <p>耐力度とは、建物の「構造耐力」、「健全度」、「立地条件」の3項目を調査し、建物の老朽化を総合的に評価するものであります。</p> <p>結果分析についてです。構造耐力ですが、屋内運動場は昭和47年建築で、平成24年に耐震改修を実施していることから、耐震性に関しては問題ないとされたが、風荷重に対する安全率の低さにより減点され、構造耐力は100点満点中66点となっています。</p> <p>次に、健全度ですが、建築後40年以上、実際には49年が経過しており、長寿命化改修も行われていないことから25点満点中0点と大きく減点となっています。また、柱と梁の強度を判定する架構剛性性能について</p>

は、1階が鉄筋コンクリート造り、2階が鉄骨造りということから、健全度は100点満点中70点となりました。なお、風荷重は、富津市の基準風速は $V_0=38$ (m/s)となっています。また、基準風速とは、高さ10メートルにおける10分間平均風速であります。元年の房総台風の際に木更津市で観測された暴風に相当するとされています。

立地条件ですが、青堀小学校は海岸から5km以内、実際には約1.42kmということから減点対象となり、更に、千葉県全体が地震地域一種とされ、液状化が見込まれる区域であることから同じく減点の対象となっており、0.9点となりました。したがって、耐力度は、評価項目の点数を乗じて算定すると、構造耐力66点×健全度70点×立地条件0.90点=4,158点となります。この4,158点は、校舎と同様に、10,000点満点中で4,500点を下回る結果となり、文部科学省の定める「危険建物の改築」に該当し交付金対象となります。

その他(青堀小学校屋内運動場の規模に係る問題点について)ですが、屋内運動場の必要面積は、表1のとおり学級数に基づき設定されています。青堀小学校は、16学級以上です。令和3年5月1日現在、26学級であるため、必要面積が1,215㎡であるのに対し、現状の面積は805㎡であり、表1の基準と比較すると410㎡不足している状況です。

さらに、学級数の推計値(表2)からも、令和10年度まで24学級が見込まれることから、面積を増やす必要があります。このようなことから、結果と面積をクリアしたいことから、正式な決定ではありませんが、建て替えが必要であると考えます。今後、校舎及び屋内運動場の改築を総合的に進めてまいります。

報告は、以上です。

御質問・御意見はございますか。

ほかにございますか。

はい。学校教育課。

はい。修学旅行・校外学習予定について御報告いたします。

教育委員会で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出ている場合は、旅行に行かない条件を出していました。緊急事態宣言等が解除されましたので、現地で発熱等が起こった場合に保護者が迎えに行ける範囲で各学校が計画の変更を行い、この表になっています。

岡根教育長

須藤参事

	<p>この表の空欄の、環小学校の4、5年生は10月28日、29日に大房岬少年自然の家に宿泊で行っています。6年生については12月8日、9日に館山方面、富浦に宿泊、アクアラインのトンネルを見学して、長柄町のターザニアに行く予定です。1年生から3年生の校外学習は、日帰りでマザー牧場や鴨川シーワールドへ学校の計画に従い実施する報告を受けています。</p> <p>以上です。</p>
岡根教育長	<p>はい。御質問・御意見はございますか。</p> <p>藤平委員。</p>
藤平委員	<p>はい。県、市の教育委員会から緊急事態宣言等が出ている場合は、旅行に行かない通達がでていましたが、緊急事態宣言等が解除されてどう変わったのか。保護者にどのように伝わったのか。また、保護者が迎えに行ける範囲となっていましたので、県内に縛りがいいのか教えてください。</p>
須藤参事	<p>はい。教育委員会から基本的な考え方を学校に文書で渡してあります。学校が計画を変更する時、保護者宛てに教育委員会からこのような条件が出ていますので、このように実施してくださいと伝えてあります。</p> <p>千葉県や旅行先で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出ていない場合は、県外も大丈夫としています。ただ、保護者が迎えに行ける範囲となっています。ある学校で箱根を予定していましたが、保護者から迎えに行けないわけではないが近くに変更してほしいとの要望があり変更した学校もあります。青堀小学校は山梨県を予定しており、11月6日に保護者説明会を実施する予定です。</p>
藤平委員	<p>はい。</p>
岡根教育長	<p>ほかにごございますか。</p>
	<p>無いようですので、教育総務課、お願いします。</p>
小野田課長	<p>はい。</p> <p>次回の教育委員会定例会議を、11月18日木曜日、午前10時から、ここ401会議室にて開催を予定しています。</p> <p>また、同日定例会議終了後の午前11時から市長を交えた「総合教育会議」の開催を予定しています。</p> <p>内容は、先ほど報告第2号で説明のありました「富津市立図書館整備</p>

岡根教育長	<p>基本計画（素案）」について、市民からいただいた意見を踏まえ、教育委員会と市長と協議をしようとするものです。</p> <p>次に、先の話ですが、教育委員会表彰式を2月2日（水）の午後に予定しております。改めてご通知いたしますが、ご承知おきくださいますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>以上で本日の教育委員会会議を、終了させていただきます。</p>
--------------	--